

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
 ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

子どもたち一人ひとりが輝く学校

- (1) 子どもたちの力を伸ばす学校
- (2) 機動力がありチームで取り組む学校
- (3) 家庭・地域ともに歩む学校

学校課題研修

豊かな関わり合いを通して、生き生きと学ぶ植水っ子の育成
 ～学び合い、高め合える「読み」の指導の工夫～

4月 学力向上目標①

令和元年度に実施した市学習状況調査の平均正答率は、平成30年度とほぼ同率であった。学習のスタイルの定着を図り、令和元年度より3pt向上させた値を目指す。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

授業のユニバーサルデザイン化を進め、わかる授業を展開する。

開始期日

4月中

具体的な手立て

- ・学習計画の提示により、学習に見通しをもたせる。
- ・授業の流れや板書の仕方、ノート指導の共通理解により、安心して取り組む環境を整える。

策2

児童の学習環境を整備し、効果的な授業展開の工夫をする。

開始期日

9月中

具体的な手立て

- ・教室前面の環境整備、児童の実態に合わせた教材の作成を行う。
- ・児童が主体的に学ぶために、タイムタイマーを活用し、時間を意識した学習に取り組ませる。

本年度の振り返り

- ・学校評価アンケートで、児童が学習について「よくわかる」「だいたいわかる」と回答した割合が85%となった。授業のユニバーサルデザイン化・学習環境の整備が効果を上げていると考えられる。

達成度



次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・「自分から進んで学習できている」という質問に「あまりできていない」「できていない」と回答した児童が15%いた。そのことを踏まえ、児童が進んで学習に取り組めるよう、更なる学習環境の整備・興味をひきつける授業の展開を進めていく。
- ・国語の「読み」について、指導を工夫し、児童が文章の内容を正しく読み取ることができるようにする。

8月

2月

3月